

授業科目(ナンバリング)	日本史 (CA214)			担当教員	落合 知子		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
日本人は古くから海外の文化を咀嚼しながら、日本独自の文化を形成してきたといえる。本授業は、これまで学校教育で学んできた教科書通りの日本史を反復するのではなく、その時代に出現(特化)した人物及びモノに焦点を充てて、歴史を読み解いていく。日本の歴史と日本の文化を学ぶことを目的とする。							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	時代的背景から出現した人物やモノの研究に関心を持つことができる。				小テスト	30%	
情報収集、分析力	歴史資料を読み解く力を養うことができる。				授業態度・授業参加度	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	専門的知識を養い、日本の歴史をより深く理解できる。				定期試験	60%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は定期試験 60%、小テスト 30%、授業態度・授業参加度 10%の配分で行う。定期試験は筆記試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。小テストはその回の授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを評価基準とし、ポートフォリオで課題のフィードバックを行う。							
授業の概要							
講義内容は人物及びモノから読み解く日本の歴史である。日本におけるヒトの出現から戦前までの、その時代を代表する人物や歴史資料に焦点を充てて、歴史を学ぶ。授業はパワーポイントを使用した講義形態とする。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。 参考書：『詳説 日本史B』山川出版社 (2015) 指定図書：『詳説 日本史B』山川出版社 (2015)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
講義で取り上げた歴史資料は博物館に展示されているので、日頃から博物館に訪れ、モノに慣れ親しむことが望ましい。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食及び理由のない遅刻・途中退中は認めない。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	旧石器時代	日本文化のあけぼの。旧石器時代の暮らし・道具。	旧石器時代の復習と縄文時代の予習。
2	縄文時代	縄文時代の遺跡・住居・食物・土器。	縄文時代の復習と予習。
3	縄文時代	縄文人の宗教観・装飾品。	縄文時代の復習と弥生時代の予習。
4	弥生時代	弥生時代の遺跡・土器・道具・宗教観。 (小テスト予定)	弥生時代の復習と古墳時代の予習。
5	古墳時代	古墳とヤマト政権。	古墳時代の復習と飛鳥時代の予習。
6	飛鳥時代	律令国家の形成・飛鳥文化。	飛鳥時代の復習と奈良時代の予習。
7	奈良時代	平城京の時代・白鳳文化・天平文化。	奈良時代の復習と平安時代の予習。
8	平安時代	貴族政治。	平安時代の復習と予習。
9	平安時代	国風文化。 (小テスト予定)	平安時代の復習と鎌倉時代の予習。
10	鎌倉時代	鎌倉幕府成立。	鎌倉時代の復習と予習。
11	鎌倉時代	鎌倉文化。	鎌倉時代の復習と室町時代の予習。
12	室町時代	室町幕府成立・室町文化・戦国大名。	室町時代の復習と安土桃山時代の予習。
13	安土桃山時代	幕藩体制の確立・桃山文化。 (小テスト予定)	安土桃山時代の復習と江戸時代の予習。
14	江戸時代	幕藩体制の展開・元禄文化・化政文化。	江戸時代の復習と明治時代の予習。
15	明治時代	近代国家の成立。	明治時代の復習。
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備